

2026年3月期 第2四半期（中間期）決算短信〔日本基準〕（連結）

2025年11月11日

上場会社名 株式会社ロブテックス 上場取引所 東
コード番号 5969 URL <https://www.lobtex.co.jp>
代表者 （役職名）代表取締役社長 （氏名）地引 俊為
問合せ先責任者 （役職名）取締役執行役員 管理部長 （氏名）森下 幸治 TEL 072-980-1110
半期報告書提出予定日 2025年11月13日 配当支払開始予定日 —
決算補足説明資料作成の有無：無
決算説明会開催の有無：無

（百万円未満切捨て）

1. 2026年3月期第2四半期（中間期）の連結業績（2025年4月1日～2025年9月30日）

（1）連結経営成績（累計）（％表示は、対前年中間期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 中間純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2026年3月期中間期	2,784	0.3	68	△50.3	74	△46.6	33	△58.8
2025年3月期中間期	2,776	△1.6	137	△5.5	139	△11.0	80	△13.5

（注）包括利益 2026年3月期中間期 92百万円（7.0%） 2025年3月期中間期 86百万円（△46.2%）

	1株当たり 中間純利益	潜在株式調整後 1株当たり 中間純利益
	円 銭	円 銭
2026年3月期中間期	17.79	—
2025年3月期中間期	43.14	—

（2）連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2026年3月期中間期	8,834	4,878	55.2
2025年3月期	8,611	4,841	56.2

（参考）自己資本 2026年3月期中間期 4,878百万円 2025年3月期 4,841百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2025年3月期	—	0.00	—	30.00	30.00
2026年3月期	—	0.00			
2026年3月期（予想）			—	30.00	30.00

（注）直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 2026年3月期の連結業績予想（2025年4月1日～2026年3月31日）

（％表示は、対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	5,810	1.8	220	6.9	220	△1.2	130	68.2	69.62

（注）直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 当中間期における連結範囲の重要な変更：無

(2) 中間連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更：無

② ①以外の会計方針の変更：無

③ 会計上の見積りの変更：無

④ 修正再表示：無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）

2026年3月期中間期	2,000,000株	2025年3月期	2,000,000株
2026年3月期中間期	132,600株	2025年3月期	132,600株
2026年3月期中間期	1,867,400株	2025年3月期中間期	1,867,404株

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数（中間期）

※ 第2四半期（中間期）決算短信は公認会計士又は監査法人のレビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料の3ページ「1. 経営成績等の概況（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当中間期の経営成績の概況	2
(2) 当中間期の財政状態の概況	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 中間連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 中間連結貸借対照表	4
(2) 中間連結損益計算書及び中間連結包括利益計算書	6
(3) 中間連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 中間連結財務諸表に関する注記事項	9
(セグメント情報等の注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(継続企業の前提に関する注記)	9

1. 経営成績等の概況

（1）当中間期の経営成績の概況

当中間連結会計期間の我が国経済は、雇用や所得環境の改善が見られた一方で、資材価格高騰等による物価の上昇、ウクライナや中東の不安定な情勢の長期化、米国による関税政策によって、先行きが不透明な状況が続きました。

このような状況の下、当社グループでは、経営ビジョン「モノづくりのプロにゆえ、モノづくりのゆえに育む」、経営スローガン「私たちは工具を通じ、あらゆるモノづくりの要求に応え、つくるゆえに伝える事で社会に貢献します」の発信と浸透を更に進め、経営課題である「業務の整流化を徹底し、利益体質の強化を図る」を追求し、経営目標達成に向け努力してまいりました。

そして、その経営ビジョンを推し進めるにあたり、経営課題の解決に向け、新規開発事業部、ハンドツール事業部、ファスニング事業部の3事業部において事業収支改善を徹底することで「業務の整流化」と「利益体質の強化」を図りました。

新規開発事業部では、新規商品の開発、新規調達先の開拓を加速、充実を図りました。

ハンドツール事業部では、開発から生産までの商品化プロセスを加速させ、安定的且つ効率的供給体制を構築し、特に生産拠点であるグループ会社、鳥取ロブスターツール株式会社との連携を図ることにより収益力の強化を行いました。

ファスニング事業部は、需要が増加している接合作業の自動化装置など、ファスニング分野のさらなる伸長を図るため、技術開発、営業、アフターサービス部門が一体となり、お客様の要求に“きめ細やかに”そして、市場ニーズを的確に捉えるべく製販一体となって対応しました。また、グループ会社でありファスナー専門商社の株式会社ロブテックスファスニングシステムと連携の下、営業力の強化を図り、同社の管理、品質、技術部門を当社と連携することで販路拡大に特化・集中できる体制としたことにより、省人化を目的としたリベッティングの自動機やシステム物件の引き合いが増加傾向にあり、着実に受注に結びつきました。

その結果、売上高は前年同期比0.3%増の2,784百万円（前年同期2,776百万円）と微増しましたものの、利益面におきましては、営業利益は同50.3%減の68百万円（同137百万円）、経常利益は同46.6%減の74百万円（同139百万円）、親会社株主に帰属する中間純利益は同58.8%減の33百万円（同80百万円）となりました。

セグメントごとの経営成績は、次のとおりであります。

①金属製品事業

ハンドツール事業では、国内売上においては、電設工具が好調でしたが、海外売上において、特に韓国における市況の低迷が影響し、電設工具及びプライヤ類の販売が低調に推移しました。

一方、ファスニング事業においては、前年6月に連結子会社である株式会社ロブテックスファスニングシステムを100%子会社化したことに伴う一部商品のグループ会社外への移管による売上減少の影響がありましたが、国内・海外ともに省人化を目的としたリベッティングの自動機やシステム物件の引き合いが増加傾向にあり、着実に受注・売上に結びつきました。

その結果、金属製品事業の合計売上高は、ほぼ横ばいの前年同期比0.3%増の2,660百万円（前年同期2,651百万円）となりましたが、セグメント利益については、新規アイテムの生産・発売と在庫評価に関する費用発生に伴う売上原価率の上昇があり、前年同期比85.1%減の11百万円（同75百万円）となりました。

②レジャー事業

ゴルフ練習場における売上高は、サービス向上や集客施策を実施してまいりました結果、来場者数は微増したものの、一人当たりの売上高が減少し、前年同期比0.7%減の124百万円（前年同期124百万円）となりました。セグメント利益については、経費節減に努めたものの、練習用ボールの一部入れ替え等による運営維持費用の増加があり、同7.6%減の57百万円（同61百万円）となりました。

（2）当中間期の財政状態の概況

当中間連結会計期間末における総資産は8,834百万円となり、前連結会計年度末に比べ223百万円増加しました。

（資産）

流動資産は前連結会計年度末比178百万円増の5,935百万円となりました。これは主に受取手形及び売掛金や電子記録債権が減少する一方で、現金及び預金や棚卸資産が増加したことによるものです。

固定資産は同45百万円増の2,898百万円となりました。これは主に減価償却の計上による減少がある一方で、投資有価証券の時価上昇による増加や設備投資の実施があったことによるものです。

（負債）

流動負債は前連結会計年度末比200百万円増の2,452百万円となりました。これは主に買掛金や短期借入金が増加したことによるものです。

固定負債は同13百万円減の1,504百万円となりました。これは主に繰延税金負債の増加がある一方で、長期借入金が増加したことによるものです。

（純資産）

純資産は前連結会計年度末比36百万円増の4,878百万円となりました。これは主に配当支出による減少がある一方で、投資有価証券の時価評価に伴うその他有価証券評価差額金の増加や親会社株主に帰属する中間純利益の計上による増加があったことによるものです。

（キャッシュ・フローの状況）

当中間連結会計期間における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）の残高は、前連結会計年度末に比べ236百万円増加（前年同期5百万円減少）し、2,197百万円となりました。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

棚卸資産の増加による減少がある一方で、仕入債務の増加や売上債権の減少及び減価償却費の計上などにより、資金が345百万円増加（前年同期262百万円増加）しました。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

有形固定資産の取得を主因に、資金が38百万円減少（前年同期81百万円減少）しました。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

配当金の支払いなどにより、資金が70百万円減少（前年同期183百万円減少）しました。

（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当中間連結会計期間の業績は、概ね当初に想定した範囲内で推移しており、2025年5月9日に発表いたしました業績予想に変更はありません。

2. 中間連結財務諸表及び主な注記

(1) 中間連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2025年3月31日)	当中間連結会計期間 (2025年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,287,897	2,524,188
受取手形及び売掛金	934,697	864,714
電子記録債権	227,099	182,610
商品及び製品	1,443,285	1,545,415
仕掛品	435,152	384,367
原材料及び貯蔵品	330,447	350,413
その他	98,965	84,070
流動資産合計	5,757,545	5,935,780
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	721,747	694,592
土地	668,226	668,226
その他（純額）	558,568	535,654
有形固定資産合計	1,948,542	1,898,473
無形固定資産	30,261	26,506
投資その他の資産	875,081	973,913
固定資産合計	2,853,885	2,898,893
資産合計	8,611,431	8,834,673

（単位：千円）

	前連結会計年度 (2025年3月31日)	当中間連結会計期間 (2025年9月30日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	232,055	383,295
短期借入金	1,515,870	1,565,428
未払法人税等	57,968	59,882
その他	445,820	443,421
流動負債合計	2,251,715	2,452,028
固定負債		
長期借入金	1,333,386	1,288,326
退職給付に係る負債	87,968	91,577
その他	96,374	124,274
固定負債合計	1,517,728	1,504,178
負債合計	3,769,443	3,956,206
純資産の部		
株主資本		
資本金	960,000	960,000
資本剰余金	493,710	493,710
利益剰余金	3,279,500	3,256,697
自己株式	△164,534	△164,534
株主資本合計	4,568,676	4,545,873
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	273,310	332,593
その他の包括利益累計額合計	273,310	332,593
純資産合計	4,841,987	4,878,467
負債純資産合計	8,611,431	8,834,673

（2）中間連結損益計算書及び中間連結包括利益計算書
（中間連結損益計算書）

（単位：千円）

	前中間連結会計期間 （自 2024年4月1日 至 2024年9月30日）	当中間連結会計期間 （自 2025年4月1日 至 2025年9月30日）
売上高	2,776,788	2,784,285
売上原価	1,885,474	1,955,703
売上総利益	891,314	828,582
販売費及び一般管理費	753,903	760,305
営業利益	137,410	68,276
営業外収益		
受取配当金	12,123	14,412
その他	4,655	9,310
営業外収益合計	16,778	23,723
営業外費用		
支払利息	14,086	16,901
その他	716	705
営業外費用合計	14,803	17,607
経常利益	139,385	74,393
税金等調整前中間純利益	139,385	74,393
法人税等	56,322	41,174
中間純利益	83,063	33,218
非支配株主に帰属する中間純利益	2,502	—
親会社株主に帰属する中間純利益	80,560	33,218

（中間連結包括利益計算書）

（単位：千円）

	前中間連結会計期間 （自 2024年4月1日 至 2024年9月30日）	当中間連結会計期間 （自 2025年4月1日 至 2025年9月30日）
中間純利益	83,063	33,218
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	3,409	59,283
その他の包括利益合計	3,409	59,283
中間包括利益	86,472	92,501
（内訳）		
親会社株主に係る中間包括利益	85,387	92,501
非支配株主に係る中間包括利益	1,085	—

（3）中間連結キャッシュ・フロー計算書

（単位：千円）

	前中間連結会計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年9月30日)	当中間連結会計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前中間純利益	139,385	74,393
減価償却費	111,778	112,096
貸倒引当金の増減額（△は減少）	△494	—
退職給付に係る負債の増減額（△は減少）	11,525	3,608
受取利息及び受取配当金	△12,252	△16,279
支払利息	14,086	16,901
為替差損益（△は益）	2,608	△295
売上債権の増減額（△は増加）	260,603	114,473
棚卸資産の増減額（△は増加）	△222,006	△71,311
仕入債務の増減額（△は減少）	43,508	151,239
その他の資産の増減額（△は増加）	234	△1,735
その他の負債の増減額（△は減少）	△22,467	454
小計	326,510	383,545
利息及び配当金の受取額	12,253	16,325
利息の支払額	△14,928	△16,956
法人税等の支払額	△61,806	△50,435
法人税等の還付額	—	13,253
営業活動によるキャッシュ・フロー	262,029	345,732
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△276,600	△276,601
定期預金の払戻による収入	276,600	276,600
有形固定資産の取得による支出	△68,232	△32,438
無形固定資産の取得による支出	△979	—
投資有価証券の取得による支出	△5,875	△6,596
その他	△6,784	180
投資活動によるキャッシュ・フロー	△81,872	△38,855
財務活動によるキャッシュ・フロー		
長期借入れによる収入	600,000	350,000
長期借入金の返済による支出	△443,704	△345,502
リース債務の返済による支出	△23,110	△19,358
自己株式の取得による支出	△10	—
配当金の支払額	△65,359	△56,022
非支配株主への配当金の支払額	△14,000	—
連結の範囲の変更を伴わない子会社株式の取得による支出	△236,836	—
財務活動によるキャッシュ・フロー	△183,021	△70,882
現金及び現金同等物に係る換算差額	△2,608	295
現金及び現金同等物の増減額（△は減少）	△5,473	236,290
現金及び現金同等物の期首残高	2,465,036	1,961,297
現金及び現金同等物の中間期末残高	2,459,563	2,197,587

（４）中間連結財務諸表に関する注記事項

（セグメント情報等の注記）

【セグメント情報】

Ⅰ 前中間連結会計期間（自 2024年4月1日 至 2024年9月30日）

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

（単位：千円）

	報告セグメント			中間連結 損益計算書 計上額
	金属製品事業	レジャー事業	計	
売上高				
外部顧客への売上高	2,651,829	124,958	2,776,788	2,776,788
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	—	—	—
計	2,651,829	124,958	2,776,788	2,776,788
セグメント利益	75,666	61,743	137,410	137,410

（注） セグメント利益は、中間連結損益計算書の営業利益と一致しております。

Ⅱ 当中間連結会計期間（自 2025年4月1日 至 2025年9月30日）

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

（単位：千円）

	報告セグメント			中間連結 損益計算書 計上額
	金属製品事業	レジャー事業	計	
売上高				
外部顧客への売上高	2,660,231	124,054	2,784,285	2,784,285
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	—	—	—
計	2,660,231	124,054	2,784,285	2,784,285
セグメント利益	11,251	57,025	68,276	68,276

（注） セグメント利益は、中間連結損益計算書の営業利益と一致しております。

（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記）

該当事項はありません。

（継続企業の前提に関する注記）

該当事項はありません。